



第二見晴らし台からの眺望

## 鬼飛山周辺にはこんな遺跡も



### 白隠禅師の座禅岩

(美濃加茂市民ミュージアム提供)

白隠禅師(1685年～1768年)は江戸中期の高僧で臨済宗中興の祖といわれ、1715年(正徳5年)3月から1年9ヶ月の間、美濃加茂市山之上の岩滝山へ入山し、座禅岩などで修行したと伝えられています。

### 鬼飛山までのアクセス

- 自動車**
- 名神高速道路を利用の場合(約50分)  
小牧IC → 国道41号 → 川辺町
  - 東海環状自動車道を利用の場合(約10分)  
美濃加茂IC → 国道41号 → 川辺町



▲山頂公園  
駐車場

- 鉄道**
- JR名古屋駅 → JR岐阜駅 → JR中川辺駅 → 鬼飛山
  - JR名古屋駅 → JR多治見駅 → JR美濃太田駅 → JR中川辺駅 → 鬼飛山
  - 名鉄名古屋駅 → 名鉄新鵜沼駅 → JR鵜沼駅 → JR中川辺駅 → 鬼飛山

### お問い合わせ先

川辺町役場 企画課 ☎0574-53-7213

F509-0393 岐阜県加茂郡川辺町中川辺1518番地4



HP




Instagram



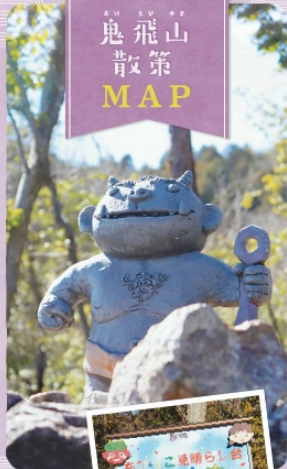
Facebook



X



かわべ  
あひ ぎや かつ  
鬼飛山  
昔又第  
MAP



明治安田

このパンフレットは「明治安田生命保険相互会社」のご寄付により作成しました。

## 川辺に桃太郎伝説あり

この山には、「桃太郎伝説」が残っており、鬼が飛ぶように逃げたことから鬼飛山と呼ぶようになりました。山腹には鬼門・洞門があつて、ここに鬼が住み乱暴を働いたといわれています。

町内には、桃太郎が鬼を退治するために、雉を集めた「木知河(こちがら)」、犬を集めた「犬塚(いぬづか)」、猿を集めた「猿ヶ鼻(さるがはな)」、また、若い娘が鬼に連れ去られるときに泣きながら歩いた板道は「夜泣き板」(現在は「夜之木板」と呼ばれるようになり、現在も地名として残っています)。



▲整備された登山道

展望休憩所  
(東屋)

イワカガミ群生地



鬼瓦

80

いぼ井戸



いぼ井戸

越鳥用の岩壁に鬼が開けたという穴があり、いつも水が溜まっています。この水にいぼを浸すと治るといわれています。

大谷八十八ヶ所

大谷山

八坂山

大谷公園

川辺鹿野IC

美濃加茂バイパス

山桶公園

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

やまぐらこうえん  
山桶公園

芝生広場や複合遊具が子どもに人気の公園です。展望台や遊歩道等もあり、町長の癒いの場となっています。

第二見晴らし台

三角点  
(291m)

賑濟寺

白隠禅師座禪岩

賑濟寺ゴルフ場

第一見晴らし台

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

鬼飛山

中川池駅

やまかやま  
八坂山(225m)

眼下には川辺のまちが広がり、御蔵山や恵那山、名古屋のビル群まで遠望できます。日の出のスポットとしても有名です。

鬼飛山は標高291メートルで、川辺町と美濃加茂市の境界に位置しています。第二見晴らし台からは、飛騨川と川辺町や美濃加茂市の街並み、遠くは、北に御蔵山、南に名古屋市の高層ビルを望むことができます。山頂は第二見晴らし台から西に約200メートル進んだ三角点のある場所です。そこからさらに西に進むと美濃加茂市の展望休憩所(東屋)があり、賑濟寺(しんさいじ)からの登山道につながります。



▲第二見晴らし台



米田富士(268m)

▲第二見晴らし台からの眺望

## 鬼飛山(おにとひやま)

鬼飛山散策ルート